

事業概要シート

施策 0305 図書館の充実と整備

<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	図書等整備事業	拡充	予算額	14,374 千円
				<< 8,200 >>千円
事業期間	~		財 源 内 訳	国庫支出金
		県支出金		
根拠法令 要綱等	図書館法、大村市立図書館条例、大村市立図書館条例施行規則			地方債
		その他		
			一般財源	

【事業の目的・概要・対象】

市民の多様なニーズを把握しながら、図書・雑誌等の購入・整理・保存を行い、閲覧・貸出サービス等に提供する。

(1) 図書の購入

① ミライオン図書館本館

H28からH30まで3年間重点的に新規購入を実施

H31から持続可能な規模での新規購入を継続

② 公民館・住民センター図書室（郡・中地区、6地区）

H31 R2年度初めの中地区公民館新築、図書室リニューアルに向け新規購入

R2 郡公民館図書室分室化に伴う蔵書整備のため新規購入

③ 団体貸出（学校図書室支援）

市内小・中学校図書室との連携・支援強化のため、調べもの学習や調査・研究用の児童書等を

団体貸出用図書として新規購入

【背景】

平成30年度末までに、市立図書館分約15万冊の蔵書整備は順調に遂行できた。

ミライオン図書館開館後は、蔵書冊数30万冊の目標に向けて、持続可能な規模での図書購入計画を実施する。

旧図書館の閉館、仮事務所移転時の蔵書整理に伴い、今後、数年間は除籍（図書等の廃棄）が生じないため、新規購入図書数の数だけ蔵書が増加していく。

担当課	社会教育課・図書館	課長	鈴木 章子
担当者	白石 勝己	問合せ先	48-7700（外線：市立図書館）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	図書購入冊数	冊	26,333	4,000	7,500	7,500	7,500
②	蔵書冊数	冊	186,283	190,000	197,500	205,000	212,500

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	市民一人当たりの貸出冊数	冊	3.49	5.48	8.81	8.78	8.74
②	市民一人当たりの蔵書冊数	冊	1.94	1.96	2.02	2.09	2.15

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	46,637	53,299	8,200	14,374	14,500	14,500	151,510
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	43,376	45,770	6,000	12,000	12,000	12,000	131,146
一般財源	3,261	7,529	2,200	2,374	2,500	2,500	20,364
人件費	16,146	16,962	11,224	11,628	11,628	11,628	79,216
職員(人)	1.85人	2.15人	1.45人	1.50人	1.50人	1.50人	9.95人
時間外勤務(h)	1254h	571h	340h	360h	360h	360h	3245h
嘱託員(人)	0.10人	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.20人
フルコスト	62,783	70,261	19,424	26,002	26,128	26,128	230,726

妥当性 (市の関与)	市立図書館の蔵書数確保であり、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	市民の多様なニーズや学習意欲に応じ、新しい図書・雑誌等を多く購入することは、図書館の充実を図る取組として有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性 (コスト)	財源として、ふるさとづくり基金繰入金を活用しているが、ふるさと納税の制度運用変更に伴い、持続可能な規模での購入を継続しなければならない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり